



まちのできごと

9/6~7 雄武の屋台村 夏の終わりを満喫

地域交流センター横の駐車場で雄武の屋台村が開催されました。昨年は中止となったため、待ち望んでいた町民は開始前から行列をつくっていました。会場では、商工会が中心となって用意したおでんや焼きそば、唐揚げのほか、新メニューの韃靼そば粉を使用したピザが好評でした。来場者は冷えた飲み物を片手に、友人や職場の仲間と賑やかに夏の終わりを満喫していました。



↑提灯の明かりに照らされる会場

↓図書館の利用方法を紙芝居で教わる児童



9/5~6 雄武小児童の図書館見学 図書館にまた来たい

雄武小学校の1・2年生が図書館「雄図びあ」を見学しました。図書館職員から館内の案内や紙芝居の読み聞かせを受けた児童は、自由時間になるとさっそく図書館の中を歩き回り本を探していました。読みたい本を見つけ、テラスやソファ、カウンターなど思い思いの場所で本を読む児童たち。見学の終わりには「もっと読みたかった。また来たい」と図書館がお気に入りになっているようでした。

↓コゲないように気をつけながら調理する子ども



9/8 秋季めだか塾 地元の食材で食育を

雄武町子ども育成会の主催による秋季めだか塾が町民センターで開催されました。50周年記念事業として開催された今回は「海を味わおう」と題して地元産のサケを使った料理に挑戦。メニューは「サケのムニエル」「サケのおにぎり」「サケの汁物」の3品で、包丁や火を使う場面では、高学年の子どもが下の学年の子どもの手をとりにながら教えるなど微笑ましい場面もありました。



↑ホースを持ち一斉放水する消防団員

↓さまざまな遊びを楽しむ子どもたち



9/1

こどもまつり あふれる笑顔

「遊びの楽しさ」をテーマに児童センターでこどもまつりが開催され、会場には多くの子どもたちが集まりました。オープニングには、毎年恒例の子どもたちによるダンスなどが披露されました。「あそびの広場」ではヨーヨー釣り・黒板づくりなどの楽しい遊びや綿あめコーナーで夢中になり、「おぼけ屋敷」では列に並んで順番を待つほど賑わいました。お昼になると、お待ちかねの流しそうめんも行われ、流れてきたそうめんを口いっぱいの子供たちには笑顔があふれていました。

8/30 戦没者追悼式 戦後74年の祈り

この日、雄武町民センターで令和元年度雄武町戦没者追悼式が挙行されました。式典には遺族や来賓の方々が参列し、国歌斉唱、黙とうが行われた後、雄武町遺族会会長の中川氏から「この平和の意義を(戦後)74年という年月にあらためて感じながら、私たちは、一歩ずつ明るい未来に向かい、進んで行かなくてはなりません」と追悼の辞が述べられました。式の最後には、144人の戦没者に対して参列者全員で献花を行い、戦没者の冥福と平和を祈りました。



↑追悼の辞を述べる遺族会会長の中川氏

↓ロープのトンネルを体験する園児



9/4 若草保育所遠足 さまざまな遊具を体験

秋晴れのなか、若草保育所の園児たちが保育所から宮の森公園までの遠足を行いました。当日は絶好の遠足日和で、横断歩道では手を上げて元気に楽しく歩きました。公園では、木のつり橋やうんてい、ロープのトンネルなどの遊具が大人気でした。お昼は、公園の芝生に広げたシートの上で保護者の手作りおにぎりと保育所が用意した唐揚げやバナナを食べました。さまざまな体験を終えた園児たちは一回り大きく成長したように見えました。